

## ISO/TC61/SC2 (機械的性質) 分野の最近の動向

ISO/TC61/SC2は、プラスチックの機械的性質の試験方法に関する規格の制定・改正を担当している。2021年11月の段階で46の規格が発行され、7の規格開発プロジェクトが進行中である。SC2傘下で活動中の作業部会 (WG) を第1表に示す。なお、WG4は開発案件がないため、現在休止中である。

第1表 TC61/SC2のWG

WG	コンビナー	タイトル
1	ドイツ	静的力学特性
2	マレーシア	硬度及び表面特性
3	アメリカ	衝撃特性
5	イタリア	温度依存特性
6	中国	試験片の寸法
7	韓国	疲労及び破壊靱性
8	日本	データの標記方法

\*幹事国：中国、議長国：韓国（2021年11月）

2021年の第70回 ISO/TC61年次国際会議は、10月にスウェーデン（ストックホルム）で開催予定であったが、昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルスの影響で対面会議が開催できず、2021年8月～9月の期間にWeb開催となった。TC61/SC2関係では、各WG会議、及びSC2全体会議が開催された。SC2全体会議には、22か国のPメンバー中、8か国から合計22名が参加し、各WG報告及び討議の後、計16の事項が議決され、TC61全体会議で報告された。本稿では、年次国際会議での議論内容を中心にTC61/SC2の2021年11月時点での動向につき、WG別に概要を報告する。

### 1. 静的力学特性 (WG 1)

日本提案のISO/CD 22183は、CD投票時のコメントが討議され、今後DIS投票に進める。ISO 899-2は、定期見直しの結果、改正を進める。なお、今年から、WG1のコンビナーがMr. Helmut Fahrenholz（ドイツ）に交代した。

### 2. 硬度及び表面特性 (WG 2)

日本提案のISO 20329が発行されたことが報告された。新規提案(プラスチック及び複合材料のエロージョン試験)について討議し、今後PWI段階に進める。ISO 19252は、定期見直しの結果、改正を進める。改正作業は日本中心で取進める予定である。

### 3. 衝撃特性 (WG 3)

ISO/CD 6633-2は、CD投票時のコメントが討議され、今後DIS投票に進める。ISO 179-2とISO 180に精度データを追加するための改正を実施する。さらにISO 8256の改正が提案され、改正を進める。

### 4. 温度依存特性 (WG 5)

ISO 306は、改正案を討議し、図の修正後にDIS投票に進める。ISO 75-3は次回の改正に向けたRRT状況が報告され、SC13との連携を取って取進める。ISO 458-1, -2は、SRの結果、半年以内に改正を進めるか、又は廃止提案することを決定する。なお、今年から、WG5のコンビナーがMr. Andrea Calzolari（イタリア）に交代した。

## 5. 試験片の寸法 (WG6)

ISO 20753への新たな試験片の追加、及び既存試験片の寸法修正について討議し、今後改正を進める。なお、今年から、WG5のコンビナーがDr. Dongmei Zhe (中国) に交代した。

## 6. 疲労及び破壊靱性 (WG 7)

ISO TS 28660の発行が遅延中。取進めを急ぐ。ISO/DTS 20979 は、タスクグループに2名が加わり、計7名で検討を加速する。ISO/CD 23524.2は、CD2投票を通過した。投票時のコメントが討議され、今後DIS投票に進める。取り下げ中のISO/DIS 18485は、RRTの実施を加速し、PJ再開を急ぐ。4件のアイテムが新規提案され、討議の結果、いずれも今後PWI段階に進める。

## 7. データの標記方法 (WG8)

ISO 10350-2は、長繊維材料を扱うTC61/SC13のWG2に移管する。ISO 11403-1の誤記は、次回SR時に修正する。ISO/DIS 11403-2はDIS投票実施中。ISO 11403-3は本年6月に発行済。ISO 17282は次回SRで各国最新意見を集め、取進めを討議する。さらに、将来アイテムについて活発な討議が実施された。なお、今年から、WG8のコンビナーがDr. Takashi Kuriyama (日本) に交代した。